

はじめに

天体スペクトル研究会も数えて今回で3回目になります。第1回は大阪市立科学館で、2回目はちょうど1年ほど前に綾部市天文館パオのお世話になって開かれました。

この研究会は、天体スペクトルというややなじみのうすい分野の話題を扱っています。彗星の映像を楽しむことなどに比べてなじみにくい原因は、ちょっと小難しい知識を必要とすること、また、分光器という道具を必要とするため、双眼鏡で天体観望をするような簡便さに欠けることなどにありましょう。しかし、天体現象を少し深く理解しようとするれば、スペクトルを観測し、それを解釈することが不可欠の要素になります。それは、速度や温度などのいろいろな情報をスペクトルから読み取ることが出来るからです。

この研究会では、スペクトルの情報をどう読み取るか、また、それをどう解釈するか、さらには、どうすればそれらをわかりやすく説明できるか、ということをテーマにしています。

今回の研究会は天体分光観測の大先達お二人に出席していただいております。お一人は美星天文台長で京都大学名誉教授の小暮智一先生です。小暮先生には特別講演（講義）をお願いしております。いまお一人は国立天文台名誉教授の北村正利先生です。お二人は御専門とされる分野はちがいますが、日本の観測天文学を長年にわたって指導してこられました。今後の研究会でもよろしくご指導いただきたく存じます。

3回目の今回は美星天文台にご無理をお願いして研究会を実現することが出来ました。美星天文台の皆様にあつくお礼を申し上げます。

また、本集録の作成については大阪市立科学館と兵庫県立西はりま天文台より作成費をご提供いただきました。関係者を代表致しまして、暖かいご支援にあらためて御礼申し上げます。

天体スペクトル研究会実行委員会
委員長 定金 晃三
(大阪教育大学)